



新型コロナウイルス感染防止のため、本誌掲載のイベント・講座などは、変更・中止する場合があります。

もくじ

えび人 vol.62	02	市民の広場	10
今号の表紙	03	ホール・ギャラリー	12
HUGHUG子育て	04	相談	13
市道を整備しています	06	図書館	14
エビ・ログ	08		

「広報えびな」の共通マークとルール

日・日・日にち 期 間 時間 場所 対象 定員  
 内容 講師 費用 持ち物 その他 任期  
 条件 主催 Eメール ホームページ 問い合わせ  
 申し込み 予約制 祝祭日を除く 休休み

 高齢者対象の教室など  えびな健康マイレージ対象  
 市外局番…省略している場合はすべて「046」です  
 市〇〇〇課への郵送…「〇〇〇課へ」とあるものは「〒243-0492海老名市役所〇〇〇課行」で届きます  
 市役所開庁時間…省略している場合は原則「月～金8時30分～17時15分」

今号の表紙

題字と写真は市民の方の作品を掲載しています。ご協力ありがとうございました。

題字

えびな

えびなのイチゴはあまくておいしいです。  
 中新田小学校 伊藤 楓さん(10歳)



写真

タイトル：田園風景と街  
 撮影場所：中新田付近  
 撮影者：中央在住  
 下元道夫さん



編集雑記

えび人の取材で「笑顔が出るまちづくり」という言葉が印象に残りました。みんなが笑顔になるまちづくりができればもっと魅力的なまちができるのではないのでしょうか。人を楽しませたり喜んでもらうことは簡単ではないけれど、私もこの仕事を通じ皆さんを少しでも笑顔にできるお手伝いできればと思います。(F)



活動の源は笑顔と「ありがとう」

高校時代の青少年赤十字活動をきっかけに、国内外問わずボランティア活動に取り組んできた村山さん。定年退職後は、その経験を地元に戻元。下駄飛ばし大会や花火大会鑑賞会などの企画を打ち出すアイデアマンです。  
 何事も率先して楽しむのが村山さん流。創設に携わった勝瀬わいがサロンでは、手先の器用さを生かしてレクリエーション道具の数々を自作。サンタクロースに扮することも。「みんなの笑顔と、ありがとう」が原動力。「こんなに笑ったのは久しぶりだよ」なんて言われると、やって良かった、と思います」  
 勝瀬は相模ダム建設に伴い、旧津久井郡日連村勝瀬が移転してできた地域です。「文化の違いからわだかまりが生まれることもあり。そんな時こそ人との交流が必要なんですよね」と村山さん。人と人がつながる情熱を胸に秘め、楽しい企てで笑顔の輪を広げます。



多くの人の参加を望んで企画した餅つき大会

鳳勝寺と八坂神社の参道の清掃はゆめクラブの仲間と

今月のえび人

村山信夫さん  
 (勝瀬在住・78歳)

勝瀬自治会長や勝瀬文化センター館長などを歴任。現在は勝瀬わいがサロン顧問と勝瀬地区ゆめクラブ会長を担う。孫と工作をするのも楽しみの一つ。